

平成 2 2 年度
会計室予算要求方針

【目次】

- 1 平成 2 2 年度会計室予算要求総括表 1
- 2 平成 2 2 年度会計室経営方針 1
- 3 重点的に取り組みを行う主なもの 2

1 平成22年度会計室予算要求総括表

【一般会計】

平成22年度要求総額	91,106千円
(平成21年度予算額	95,737千円)
前年度比	4.8%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成22年度 予算要求額 A	平成21年度 予算額 B	増減 A - B
会計管理事務	34,158	37,531	3,373
会計事務集約化	16,882	17,479	597
金融機関公金取扱手数料等支払	39,939	40,700	761

2 平成22年度会計室経営方針

会計室は、政令市で初めてとなる区役所会計事務の本庁への全面集約化及び会計事務の民間委託化を平成18年度から段階的に進め、効率的な会計組織を実現した。

平成22年度も引き続き、現在の組織体制を維持しながら、指導機能及び資金管理機能の充実に努める。

(1) 指導機能の充実

会計事務に関する検査、指導の強化によって、適正で効率的な会計事務の執行を推進する。

(2) 資金管理機能の充実

効率的な資金管理に努め、運用益の確保に努める。

3 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 会計事務に関する検査・指導の強化

適正で効率的な会計事務の執行を推進するため、

- ・ 支出担当課での会計事務処理の現地検査
- ・ 支払遅延防止に向けた事務処理の検査・指導
- ・ 金券類の適正保管に関する検査・指導
- ・ 財務会計事務についての職員研修

などを実施する。

(2) 歳計現金のきめ細かな運用

歳計現金について、資金収支計画の精度向上に努め、資金状況に応じたきめ細かな運用によって運用益の確保に努める。